

八十年前福井で「起きた悲劇」

【空襲に参加した飛行機】

爆撃機 118機
先導機 12機
その他 3機 合計133機

【爆弾を落とした時刻】

昭和20年(1945)7月19日
23時24分～20日0時45分
(81分間)

【福井の町の建物が破壊された割合】

84.8パーセント

【落とされた爆弾】

焼夷弾(しょういだん) 約9,000発

空襲で亡くなった人

1,576人

重傷を負った人

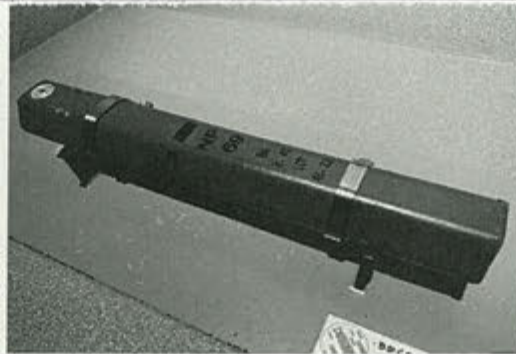
1,210人

軽傷を負った人

5,209人

(福井市復興本部援護課調査)

皆さんは八十年前に福井で何か起きたか知っていますか？1945年7月19日の夜中に福井空襲が始まりました。23時24分～20日0時45分までの81分間続きました。しかし、81分間の間に焼夷弾が約9000発落され、亡くなった人は1576人、重傷を負った人は1210人、軽傷を負った人は5209人と、とても多勢の人が亡くなり、悲劇となりました。



焼夷弾

こども

平和新聞

発行者

発行日
9月14日

平和祈念館

内地市平和祈念館は、戦時中の兵隊の忠霊を祀るため、戦後80年に建設された。市内の各地に建設された。内地市平和祈念館は、戦時中の兵隊の忠霊を祀るため、戦後80年に建設された。



集められたお寺の鐘



空襲に備えての防火訓練

戦時中の人々。空襲に備えての防火訓練。空襲により焼けた野原となった福井。しかし、町の人々はあきらめず次々に町を再建し、町をも、と発展させました。けれども、空襲から二年後、福井地震が起きました。それでもめげずにまた、福井の町を復興させました。

戦時中の人々



私は、戦後80年の現在を振り返り、福井にもたくさんの方が亡くなった。その被害が出て、心がかたまり、心が痛みました。また、今の福井があるのは、人々があきらめず、復興させたかたに感謝していました。

感謝
木目
心

焼け野原となった福井

空襲により焼けた野原となった福井。しかし、町の人々はあきらめず次々に町を再建し、町をも、と発展させました。けれども、空襲から二年後、福井地震が起きました。それでもめげずにまた、福井の町を復興させました。